

# 第56回石川県体重量別柔道選手権大会実施要項

- 1 主 催 石川県柔道連盟
- 2 後 援 北國新聞社
- 3 期 日 令和元年5月26日(日) 開会式 午前9:30～
- 4 競技日程 (1)受 付 8:00～  
(2)計 量 公式計量 8:25～8:55 <柔道場にて>  
(非公式計量 8:10～8:25)  
※ 前日計量はありません。当日のみとします。  
(3)審判監督会議 9:10～
- 5 会 場 石川県立武道館 〒920-0811 石川県金沢市小坂町西 8-3  
TEL 076-251-5721 FAX 076-251-5669
- 6 階 級 ①60 kg級 ②66 kg級 ③73 kg級 ④81 kg級 ⑤90 kg級 ⑥100 kg級 ⑦100 kg超級
- 7 出場資格 (1) 石川県在住の者で、今年度全柔連に登録済みの者  
(2) 専門学校・大学生および一般社会人の男性  
(3) 所属長の許可を受けた者  
(4) 所属のゼッケン着用
- 8 試合方法 (1) 国際柔道連盟試合審判規定で行い、試合時間は4分とする。  
※新ルールでの試合とする。(2018. 1. 1より適用)  
(2) 規定試合時間(4分)において、試合は「技あり」もしくは「一本」のテクニカルスコアでのみ決着がつくこととする。  
(直接もしくは累積による)「反則負け」を除き、「指導」(1回目、2回目)の違いだけでは勝者を決定しない。  
「指導」は相手のスコアとはならない。「指導」の上限は3回とし、3回目の指導は「反則負け」とする。  
既定の試合時間が終了した時点で両者にスコアがない、またはスコアが同等である場合、「指導」の有無にかかわらず、その試合はゴールデンスコアに移行する。  
ゴールデンスコアに移行する前に与えられたスコアならびに「指導」は、ゴールデンスコアに持ち越され引き続きスコアボードに表示される。  
ゴールデンスコアにおいては、スコア(「技あり」か「一本」)または「反則負け」(直接的または「指導」の累積による)によってのみ勝負が決まる。  
「指導」は相手のスコアとはならない。  
(3) 新罰則(指導)  
試合中に柔道衣が乱れ、帯より外に上衣の裾(背部を含む)が出た場合、主審の「待て」

から「始め」の間に、選手自ら素早く服装を直すこと。

主審が「待て」を掛けても、乱れた柔道衣を直そうとせず、放置し乱れたまま「始め」を待っている時に、主審より柔道衣を直すよう指示された場合、これを1回目とカウントし、2回目以降はその都度「指導」が与えられる。

合わせて帯も、本人が緩く結ぶことが原因で解け、自ら固く結び直さず主審から指示された場合もカウントの対象となる。

選手は「待て」から「始め」までの間に、自ら素早く服装を直し、帯を固く締めなければならない。

但し、積極的な試合展開で、例えば柔道衣の上衣がすっぽり脱げた場合に服装を直す指示を主審が行ってもカウントされない。あくまでも、場外や寝技の停滞などで「待て」が掛かった場合、選手が柔道衣の乱れを放置し、主審から指示された場合にカウントされる。

(4) 試合はトーナメント法で行う。

- 9 表彰 (1) 各階級3位までを表彰する  
(2) 各階級優勝・準優勝者には賞典を授与する。
- 10 参加申込 所定の申込用紙に必要事項を記入し、メールで申し込むこと。
- 11 参加料 1名 1,500円(当日受付にてお願いいたします)
- 12 申込期日 令和元年5月16日(木)午後5時 必着(厳守)  
★申込み期日・時間を過ぎたものは一切受け付けません。
- 13 抽選 県柔道連盟競技委員会にて行う。
- 14 申込先 〒920-1182 金沢市田上町公1 金沢刑務所内  
上野 純一 宛(石川県柔道連盟競技委員会)  
TEL 076-231-4291 アドレス [penpen@m2.spacelan.ne.jp](mailto:penpen@m2.spacelan.ne.jp) ※必ずメールで申し込むこと。
- 15 その他
- ・試合中の負傷等については、応急処置を行う。出場者の傷害保険は主催者が加入し、その費用を負担する。保険の詳細については大会事務局へ問い合わせること。
  - ・各所属の責任者は、当該選手の試合が終了するまで会場に待機してください。
  - ・個人情報の取り扱いについては、個人情報の保護に関する法令を遵守し、取得する個人情報について適正に取り扱います。また、取得した個人情報は競技大会の資格審査、競技大会運営上必要なプログラム編成及び作成、ホームページ、掲示板、報道発表、記録発表等その他競技に必要な連絡等に利用します。大会に参加する者はこれに同意したものとします。
  - ・大会前1ヶ月以内に脳震とうを受傷したものは、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
  - ・大会中、脳震とうを受傷したものは、継続して当該大会に出場することは不可とする。
  - ・練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け許可を得ること。
  - ・当該選手の指導者は、大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。